

## 外相“中国を脅威とみなさず”

大門参院議員が質問

安倍政権が戦争法案「必要論」の一つに持ち出しているのが中国の「脅威」です。しかし日本政府は、公式には中国を「脅威」とみなしていません。

岸田外相は参院安保法制特別委（8月5日）で、日本共産党の大門みきし議員の質問に「わが国政府は中国を脅威とみなしてはいない」と答弁。さらに「日中両国が戦略的互恵関係にもとづいて安定的な

友好関係を発展させることは大変重要」とのべました。

中国と日本の間には確かに領土問題などの緊張があります。しかし戦争法案のような軍事手段の強化で対応すれば、軍事対軍事の悪循環に陥ってしまいます。筋を通した粘り強い外交交渉こそが大事です。



折り目

## 12万人 怒りの包囲

## 戦争法案を通すな



▲国会を取り囲み、戦争法案廃案 安倍首相退陣を求めてコールする人たち 8月30日、国会正門前

## 日本共産党

「戦争法案、絶対廃案」安倍政権はただちに退陣——8月30日に行われた「国会10万人・全国100万人大行動」。国会前では12万人、全国では1000カ所以上で数十万人が立ちあがりました。60年安保闘争以来の規模です。

## 審議中断77回の異常

戦争法案は審議すればするほど、自衛隊をアメリカの戦争に参加させる仕組みが

鮮明になり、「国民の命を守る」という首相の口実が成り立たないことが浮き彫りです。法案を審議する参院特別委員会の審議中断は77回という異常事態。政府は答弁不能、法案はボロボロです。会期末まで一カ月弱。たかひは正念場です。必ず廃案に追い込みましょう。

## 9条生かした平和の外交戦略こそ

日本  
共産党

いま必要なのは戦争の準備ではありません。憲法9条を生かした平和の外交戦略です。

日本共産党は、東南アジアで実現している“紛争を話し合いで解決する枠組み”を北東アジアにも拡大する「北東アジア平和協力構想」を提唱しています。

「北東アジア  
平和協力構  
想」を提唱

- ①北東アジア規模の友好協力条約を締結する
- ②北朝鮮問題を「6カ国協議」の枠組みで解決する
- ③領土紛争をエスカレートさせない行動規範を結ぶ
- ④日本の侵略戦争と植民地支配への反省は不可欠の土台

# 戦争法案 口実 デタラメばかり

## 米艦防護「日本人乗船 条件でない」

「日本人の命を守るため、自衛隊が米国の船を守る。それをできるようにする」。安倍首相は昨年7月、集団的自衛権の行使を決めた閣議決定の際の記者会見で、海外の紛争地から逃れる日本人の母子を乗せた米艦が攻撃を受けているパネルを掲げ、行使の「代表例」として説明しました。

ところが参院特別委（8月26日）で中谷防衛相は“日本人が乗っていない”と答弁しました。日本人を守ることがなくても集団的自衛権行使はありう

る”と答弁しました。日本人を守ることがでなく、米軍支援こそが本当の目的であることを示しています。



## ホルムズ海峡の機雷掃海

## イラン政府が否定

首相は集団的自衛権行使の「具体例」としてホルムズ海峡での機雷掃海を挙げています。しかしイラン政

府は「(同海峡を) 開かれた、静かな海域にするべく最善を尽くしている」と機雷敷設を否定しています。

## 補給・輸送

## 毒ガスも核兵器も

従来の海外派兵法では、米軍への武器・弾薬の輸送・提供などは制約されていました。戦争法案ではクラスター爆弾、劣化ウラン弾、毒ガス兵器、核兵器まで、法文上は非人道兵器も大量破壊兵器も運

武器・弾薬の輸送、提供を大幅に拡大

	提供 武器 弾薬	輸送 武器 弾薬	戦闘発進中の 米軍機への給油
周辺事態法	× ×	○ ○	×
テロ特措法	× ×	× ×	×
イラク特措法	× ×	× ×	×
戦争法案	× ○	○ ○	○

べることが明らかになりました。

法案ボロボロ廃案しかない

自衛隊内部文書

国民に知らせず

# 戦争法案を先取り

## 平時から米軍の指揮下に

共産党の小池晃参院議員が国会質問で暴いた自衛隊内部文書。戦争法案成立前から、国民の知らないうちに集団的自衛権行使の自衛隊体制づくりが進んでいることを示しました。

①今年4月、日米政府が改定した「ガイドライン」（「日米防衛協力のための指針」）では、新たに集団的自衛権の行使が盛り込まれました。内部文書では「ガイドライン」を上位に位置づけ、その実効性確保のために戦争法案が必要であることが赤裸々

にのべられています。

②日米共同の司令部を設置し、自衛隊を日米共同作戦計画の下に置いて活動させることを明記。

③南スーダンでの自衛隊の国連平和維持活動で、「駆けつけ警護」や「武器使用の権限拡大」などを追加。戦争法案を先取りしています。

④戦争法案の成立は8月、施行は来年2月と「日程表」に表記。国会無視、戦前の「軍部独走」と同じ事態が起きています。

国会無視の暴走

## 戦争法案に反対します 日本共産党

内閣総理大臣  
安倍晋三殿

【要望】一、「戦争法案」を廃案にすること

氏 名	住 所

取扱団体●日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号

【お願い】この署名は、日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6975-9115にお送り下さい。